

福岡県中学校新人剣道大会開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン

令和3年9月
福岡県中学校体育連盟
剣道専門委員会

1 開催にあたって

「福岡県中学校体育連盟主催大会の開催にあたっての感染拡大予防ガイドライン」(以下、ガイドライン) に則って大会を開催する。

2 感染予防策について

(1) 大会参加者(選手以外の生徒、保護者を含む)の留意事項

- ① 岡垣サンリーアイ ウェーブアリーナ(以下、「会場」)に入場できる人数は、参加1チームにつき選手を含め10名程度とする。なお入場できる人数については、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、変更することがある。
- ② 「福岡県中学校体育連盟主催大会実施上の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(以下、「ガイドライン」)の「参加同意書【別紙5】」を県中体連ホームページよりダウンロードし、保護者が必要事項を記入し、所属校の学校長に提出する。【別紙5】は、学校保管とする。
- ③ 引率者は、ガイドラインの「体調記録表(学校保管用)【別紙1】」を県中体連ホームページよりダウンロードし、各校の選手や監督、コーチの2週間分の体調を記録させ、健康管理を徹底させる。【別紙1】は、学校保管とする。
- ④ 引率者は、ガイドラインの「大会当日体調記録表【別紙2】」を県中体連ホームページよりダウンロードし、大会当日の選手や監督、コーチの体調を確認・記録し、学校受付に提出する。
- ⑤ 引率者は、ガイドラインの「応援者等大会当日体調記録表【別紙6】」を県中体連ホームページよりダウンロードし、大会当日の応援者の体調を確認・記録し、学校受付に提出する。
- ⑥ 大会役員、競技役員(審判員を含む)、生徒補助員は、「来場者体調記録表【別紙3】」を県中体連ホームページよりダウンロードし、大会当日の応援者の体調を確認・記録し、大会本部に提出する。
- ⑦ 試合に係る全ての者(選手、引率者、監督、コーチ、大会役員、競技役員(審判員を含む)、生徒補助員、応援者)は、ガイドラインの「行動履歴書【別紙4】」を県中体連ホームページよりダウンロードし、大会開始2週間前からの行動を記録する。【別紙4】は、大会終了後1ヶ月間は各自で保管する。
- ⑧ 全ての入場者は当日の朝、自宅で検温し、37.5度以上体温がある場合は、入場はできない。
- ⑨ 会場では常にマスクを着用する。
- ⑩ 観客席では、密を避ける。通路等に荷物等を置かない。
- ⑪ ウェーブアリーナの更衣室は使用不可とする。

(2) 大会および競技に係る留意事項

- ① 開会式、閉会式は行わず、開始式および表彰式を行う。開始式は、審判長説示、競技・運営上の注意のみとする。表彰式は、成績発表、表彰のみとする。

- ② 表彰式は、男女とも三位までに入賞した上位四校の表彰を行う。
③ 大会は、下記の日程で行う。ただし、状況によって変更する場合がある。

開館	8 : 0 0	学校受付	8 : 1 0
ウォーミングアップ	8 : 3 0 ~ 9 : 2 0	審判会議	9 : 0 0
マテック	9 : 3 5	開 始 式	9 : 4 0
競技開始	1 0 : 0 0		

- ④ 試合は、全日本剣道連盟「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判法」に則って行う。
⑤ 選手は、面マスクおよび面フェイスシールドを装着する。
⑥ つばぜり合いでの発声は禁止する。
⑦ 代表者戦において時間内に勝敗が決せず延長戦となった場合は次のとおりとする。
・延長戦は、2分刻みで行い、二回目の2分間終了後、給水時間をとる。
・給水時間は、双方が面を外してから2分間とする。
・選手は、審判主任の2分経過の合図で面をつけ、試合を再開する。

(3) 運営に係る留意事項

- ① 文科省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき運営する。ただし、変異株の拡大など今後の感染状況に応じて、方針の大幅な変更もあり得る。
② 選手、役員、補助役員生徒、応援生徒、保護者等はマスクを着用し、マスクを外した状態での応援や会話は禁止する。
③ 開閉会式は簡素化するとともに、各チーム二人ずつなどの参加として密を避ける。また担当理事が行う「開閉会宣言」及び担当会長が行う「会長挨拶」、選手宣誓などは省略する。
④ 出場選手は朝自宅検温し、発熱の場合には様子を見る。体調がすぐれない場合はただちに帰宅させる。
⑤ 自宅からマスクを着用するとともに、自宅等で剣道着に着替えてから大会会場へ行く。更衣場所として会場内の更衣室を提供しない。
⑥ 会場内に手指消毒液を設置するとともに、2方向の出入口や窓を同時に開けるなど十分な換気を行う。
⑦ 試合前後の円陣や握手、ハイタッチ、ペアでのストレッチなどの身体接触を禁止する。また、ミーティングなどの密集、密接した環境を作らせない。大声は出さず、近距離での会話や発声が極力行われないようにする。
⑧ 選手の、個人で使用する剣道具（水筒やタオルも含め）は自分の分だけ触る。誰かがまとめて運ばない。荷物も他の人の荷物と触れたり、交ざったりしないようにさせる。
⑨ こまめな休憩をはさみ、給水用のボトルやコップ、タオルなどは共用しない。ドリンクはすべて自分で準備させる。
⑩ 昼食をとる場合にはなるべく短時間とし、黙食を呼びかける。また会場にある飲料用自動販売機付近では滞留させない。
⑪ ■大会後に保健所などから利用者の情報を求められることも想定されるため、監督は参加した生徒や役員の情報（名前・連絡先など）を提供できるようにしておく。
⑫ 感染予防のため会場滞在時間をできる限り短くするように配慮する。
⑬ 大会終了後も会場入口周辺や玄関口等での密集が起こらないよう、速やかに分散、解散させる。